令和３年４月15日

やまゆり

春の号

Vol.83

目　次

- 令和３年度事業について
- 職員名簿（芸北地域事業所）
- 令和３年度資金収支予算
- いろんなことがありました
- ご寄付お礼

ホームページアドレス
http://www.geihoku-fukushikai.com

社会福祉法人　芸北福祉会

特別養護老人ホームやまゆり
やまゆり居宅介護支援事業所
Tel　0826-38-0177
IPTel 050-5812-1347
Fax　0826-36-1100

デイサービスセンター仙水園
ヘルパーステーションスマイリー
Tel　0826-35-0975
IPTel 050-5812-1695
Fax　0826-36-3013

障害者支援センター
さあくる
Tel　0826-35-0733
IPTel 050-5812-1772
Fax　0826-35-1616

グループホーム
松籟荘
Tel（F兼）
0826-35-0740
IPTel 050-5812-1770

令和三年度事業の基本方針

一、業務執行過程における内部牽制の適正化
二、健全な財務規律の確立
三、コンプライアンスの強化（法令遵守）
四、人権の尊重とサービスの向上
五、労働環境の整備、福祉人材の確保・育成・定着
六、訪問介護事業所の開設
七、広島県老人福祉施設経営者協議会が主導する広域災害時支援体制「さっそくネット」の運用による衛生資材の提供

法人理念に基づく各事業の運営方針

特別養護老人ホームやまゆり

施設の開設から二十一年の歳月が経過しました。その間、施設の大規模改修を経て現在に至るも、営業エリアである芸北地域は、高齢化の進行とともに住民の転出も相まって、入所待機者の減少や介護従事者の定年退職に伴う補充の確保が困難になっています。

昨年度には地域内において、新型コロナウイルス感染症の発症事例もあり感染予防対策を徹底しながら、施設経営の安定と接遇の改善に努めてまいります。

（1）特　養

芸北地域の福祉サービスの拠りどころとして、地域住民から期待される施設運営に取り組みます。

重点目標

① ＩＣＴ・介護ロボット等の導入に向けて、先行導入の寿光園と協議を行いながら、令和四年度導入に取り組みます。
② 新たな加算算定の可能性を検討し、安定した経営に努めます。
③ 持続可能な施設経営の観点から、今年度は技能実習生受け入れのための体制づくりを行います。
④ 特養と短期入所のフロアーが共存していることから、感染防止策に限界があり、安全な居住空間確保のためのゾーン改修工事を行います。
⑤ 継続課題である離設防止のための対策を実施いたします。（フェンス・防犯カメラ・自動ドア等）

（2）短期入所生活介護

ご利用者やご家族のニーズに添った支援が行われるよう、各事業所の情報の共有に努めます。訪問介護事業所、グループホーム松籟荘や障害者支援センターさあくるとの情報共有を通じ、新たなニーズの掘り起こしに努めてまいります。その中で、ご利用者の入退所に係る感染防止に十分配慮しながら対応いたします。

重点目標

① 平均利用率九十％以上を目標とします。
② 事業者間の情報共有に努め、ショートステイニーズの把握に努めます。

（3）居宅介護支援事業所

今年度も継続して、地域で暮らすご利用者がその人らしい人生を送れるよう支援を行ってまいります。そのため地域住民や関係機関など多職種連携を通じて、共に支え合える地域づくりを目指します。

昨年度コロナウイルス感染症拡大により新たな課題や不安の中で業務に取り組んだことをふまえて、今後も感染症対策の強化、ＩＣＴの活用による円滑な情報共有や業務の効率化についても検討し、どのような状況下でも適切に業務が遂行できるよう努めます。

また、ケアマネマイスターとしての負託に応えるため、地域単位または県域における介護支援専門員の資質向上に向けた相談・助言活動にも対応してまいります。

重点目標

① ご利用者に寄り添ったケアマネジメントの展開に努めます。そのため自分自身の能力を高められるよう自己研鑽いたします。
② 地域単位、県域での連携を深める担い手として自覚し、提案や発言を積極的に行う、また繋がる・繋げる役割を担ってまいります。
③ 取り扱い件数の適正確保に努めます。事業所内における業務の担当において、お互いの力が発揮できるよう役割分担いたします。
④ 芸北地域在宅福祉サービス拠点の再構築に向け、居宅介護支援事業所が在宅サービスの要となるよう取り組んでまいります。

芸北地域在宅福祉サービス事業拠点

令和二年四月に北広島町社会福祉協議会から経営譲渡を受けた三

事業所（グループホーム松籟荘、ヘルパーステーションスマイリー、障害者支援センターさあくる）と、一昨年度に同じく経営譲渡を受けたデイサービスを取りまとめる拠点として、住民の皆様が安心して在宅福祉サービスをご利用できるように各事業所の強化を図ります。

居宅介護支援事業所等の関係機関と連携し、介護が必要になっても、認知症になっても障がいがあっても、一人ひとりの尊厳を大切に、心が躍り感動を得られるサービスの提供を目指していきます。そのためには職員各自が『寄り添えるケア』とは何かを模索し、職員自らが安心して利用できる、利用したいと思える事業所となるべく、職員研修を実施していきます。また安心・安定した運営のため、無理無駄を省いたコストの見直しも行ってまいります。

(1) デイサービスセンター仙水園

ご利用者が在宅で安心して自立した生活が継続できるよう、居宅介護支援事業所を中心に、各関係機関と連携を取りながらサービスを提供します。また、ご利用者の年齢層が非常に高く、年々利用者実績が減少しているという厳しい状況を踏まえて、今年度から利用定員の適正化及び営業日の見直しを行います。今後の通所介護の在り方を模索しながら、ご利用者が不安なく利用できるよう努めてまいります。

重点項目

① 関係機関と連携を行い、個別ケアの実践に努めます。

② 感染拡大防止の取り組みをしっかり行い、安心して来所していただけるよう努めてまいります。

③ デイサービスの事業規模の適正化を図る上から、営業日を週五日としたうえで、利用率の平準化に努めます。

(2) ヘルパーステーション スマイリー

令和二年四月に北広島町社会福祉協議会から経営譲渡を受け、芸北地域のご利用者の在宅生活を支えてまいりました。しかし人口の減少等の理由で利用実績が伸び悩み人員基準を満たすことが困難な状況のため、令和三年度に安芸太田地域に訪問介護事業所を新たに立ち上げ、芸北地域はサテライトとして稼働いたします。ご利用者が、在宅生活を最期まで継続できるよう、看取りケアも重視し支えていけるよう努めてまいります。

重点項目

① 居宅介護支援事業所を中心に関係機関としっかり連携し、個別ケアに努めます。

② 看取りケアを積極的に行い、最期まで在宅で生活ができるよう努めます。

③ 感染拡大防止の取り組みを行いながら、安心してヘルパーを受け入れていただけるように努めます。

④ 介護技術の向上に向けて、事業所内研修に努めるほか、ヘルパーの個別指導を通じ、サービスの標準化を図ります。

(3) グループホーム松籟荘

ご利用者の高齢化が進み、令和二年十二月末日現在、平均年齢は八十九・四歳となっています。加齢に伴って心身の状態は低下し、予期せぬ状態変化や転倒事故などのリスクが高くなる中、ご利用者一人ひとりの「自立」について十分なアセスメントを継続的に行い、職員間で共有の上、サービスを提供します。また医療と連携し心身の状況把握に努め、この先の生活について利用者、家族の意向をその都度確認し、望む生活を送っていただけるよう努めます。

重点項目

① 虐待や事故に対する意識が風化することなく、再発防止に努め職員教育を徹底してまいります。

② 認知症の専門知識と技術を向上するため、各事業所と連携し、研修または事例検討を毎月実施します。

③ 細やかな気づきを共有し、利用者の健康管理、体調不良の早期発見に努めます。

④ ご利用者の家族と連携します。定期的に開催する個別会議への参加や、毎月の状態及び行事等について情報を常に連絡し共有できる環境づくりに努めてまいります。感染防止のため、リモート面会等の導入を検討します。

⑤ 松籟荘を拠点とした交流行事を展開します。納涼会の開催、隣接する高等学校との総合学習での交流を行います。地域住民や生徒、家族を巻き込みながら実施をする事で、開かれた松籟荘を目指します。

（4）障害者支援センターさあくる

ご利用者やその家族の高齢化が進む中、障がいをお持ちの方が安心して日常生活が送れるように、芸北地域における障害福祉サービスの拠点として、相談支援専門員やケアマネージャー等の関係機関と連携し、相談支援体制を強化します。多様化する障がい特性に対応できるための技術や知識を身につけた職員を育成します。

重点項目

① 障がいの特性を理解するため、事例検討や学習会や法人内研修を実施します。

② ご利用者の思いを実現するため、相談支援体制を強化します。

③ 感染症拡大防止のため、就労継続支援B型事業においては在宅で作業が行える仕組みを考えます。

④ 就労継続支援B型事業の工賃を上げるため、コストの見直しや新規事業を開拓します。

⑤ 生活介護利用者が毎日を楽しく利用できるレクリエーションや生活訓練プログラムを実施します。

⑥ 直営での相談支援事業所の立ち上げを検討します。

職員名簿（芸北地域事業所）

■特別養護老人ホームやまゆり

やまゆり短期入所事業所……

施設長 横畠正昭

副施設長兼生活相談員 宮崎千鶴代

介護士

（常　勤）中澗弘恵　前田将志　高田　治

奥原由美　本田律子　今田康子

佐々木明美　山元香織　宮本千尋

（非常勤）鎌津彰子　屋敷百合子　高野典子

上迫君子　上田幸子　安達和美

今田裕巳　向田はるみ

（庶　務）掛　静子　松本康太郎　田中先子

看護師

（常　勤）西田奈美　高田佳奈美

（非常勤）東條宏子

管理栄養士

（常　勤）泉　亜希子

調理師

（常　勤）栗栖正文　田中優璃

（非常勤）坂本信子　下手万里子　舛田廸子

近藤小百合

事務職員

（常　勤）西田裕紀

（非常勤）後藤禎子

■やまゆり居宅介護支援事業所……

管理者（常　勤）

主任介護支援専門員　中束奈津紀

介護支援専門員　柏原美穂

■さあくる……

管理者（常　勤）大麻三千之

看護師（非常勤）沖野千津美

支援員

（非常勤）尼子隆子　今田富士子　冨長　梢

的場里美　三浦典子　川口映子

河下美恵　長本千代　藤原明子

送迎運転手

（非常勤）田中真次　舛田道孝

■デイサービスセンター仙水園……

管理者

（常　勤）堀田早苗

介護士

（非常勤）小川美寿恵　菅原真弓　徳永妙子

岩本恵理加　山元葉子　齋藤由里

俵屋喜多子

看護師

（非常勤）田村紀子　高野さち子　岩城栄美

調理師

（非常勤）堀田淳子

■ヘルパーステーションスマイリー……

管理者

（常　勤）栗栖真美

介護士

（常　勤）丸川由未　増谷清美

（非常勤）河野かおり　齋藤美佐子　長本千代

吉川愛子　前山由里子

■グループホーム松籟荘……

管理者

（常　勤）仁井山あけみ

介護士

（常　勤）太田洋二　藤本浩司　沖田真理

（非常勤）国政明美　原田登喜恵　今田昌子

河野よし子　伊屋ヶ迫緑　岡嵜増代

永井清子　檜谷トシエ　宮本すま子

小川秀子　前山由里子

令和３年度資金収支予算

(単位：千円)

勘定科目	特養	短期	居宅	仙水園	スマイリー	松籟荘
介護料収入	111,230	28,630	8,620	40,900	18,100	38,600
利用料収入	25,610	7,690		3,600		8,500
その他の事業収入	30		40	100		
受取利息配当金収入	200					
事業活動収入計	**137,070**	**36,320**	**8,660**	**44,600**	**18,100**	**47,100**
人件費支出	91,800	30,395	10,505	22,600	19,780	44,100
事業費支出	21,475	6,927	598	9,600	530	8,140
事務費支出	12,322	3,545	533	6,050	540	3,060
その他の支出	150					
事業活動費支出計	**125,747**	**40,867**	**11,636**	**38,250**	**20,850**	**55,300**
事業活動資金収支差額	11,323	△4,547	△2,976	6,350	△2,750	△8,200
施設整備等資金収支差額	△1,500			△1,100		
その他の活動収支差額	300					
当期末支払資金残高	**10,123**	**△4,547**	**△2,976**	**5,250**	**△2,750**	**△8,200**

勘定科目	さあくる
就労支援事業収入	2,500
障害福祉サービス等事業収入	27,100
事業活動収入計	**29,600**
人件費	23,300
事業費支出	2,200
事務費支出	1,400
就労支援事業支出	2,700
事業活動支出計	**29,600**

いろんなことがありました

仙水園

忘年会

新年書初め

節分
すごろく大会

松籟荘

節分豆まき

ひなまつり

やまゆり

新年会

今年は職員がえびすを舞って新年のお祝いをしました

ひなまつり

皆さんで歌を歌ったり、景品付ゲームで楽しみました

豆まき

豆を撒くかわりに、玉入れをしました

さあくる

ちぎり絵作り

ご寄付お礼

○金一封

北広島町　兒玉　近惠　様
北広島町　小河原雅治　様
北広島町　高畑　巌　様
北広島町　齊藤　康夫　様
広　島　市　新田　明子　様
北広島町　小山美保子　様

○物品等

全国共済農業協同組合連合会　様
北広島町　堀田　善実　様
北広島町　高畑　巌　様
広　島　市　新田　明子　様

（令和三年一月～三月分）

この他にもたくさんのご寄付や物品を頂戴しておりますので、合わせて御礼申し上げます。

編集後記

春の日差しを暖かく感じる季節となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。

いつも通る道を覗いてみると、水仙やチューリップなどの春に咲く花のつぼみを見つけ春を感じることができます。また、こごみ・わらび・ふきなどの春を味わうことができ、私のとても好きな季節です。

新たに新事業所を迎え一年があっという間に過ぎました。地域の皆様に芸北福祉会をより身近に感じていただけるような広報誌を作っていきたいと思います。